

「市社会福祉協議会」は、皆さんの参加と支えあいで福祉のまちづくりを進める社会福祉法に位置付けられた民間の福祉団体です。

〈発行〉社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会
藤野町地域事務所
〒229-0292 相模原市藤野町小淵2000番地
藤野総合事務所2階
042-687-3361 FAX 042-687-4049
Eメール fujino@sagamiharashishakyo.or.jp
ホームページ http://www.sagamiharashishakyo.or.jp/

本紙は、偶数月20日発行です。

パソコンって楽しいよ……!

～未知の世界に向かって挑戦～

2月28日の土曜日、藤野駅前の福祉ショップ「アップル」を会場に、障害のある方が安心してパソコンに取り組めることが出来るよう、体験講座が開催され、多くのボランティアや障害のある方々が参加しました。

当日は、ノート型パソコンの操作を学ぶため、視覚に障害のある方、身体に障害のある方が操作できる最新鋭の補助器具が用意され、初めてパソコンに触れる方からも、操作に工夫がされた数々の機器に驚きの声が聞かれました。



見てよ！この真剣なまなざしを…

それでは、最新の機器をご紹介します。

● 視覚に障害のある人の機器

音声ソフト

視力に障害のある方が、直接キーボードに触れなくてもすむように、言葉による音声を認識し、文字変換をしたり、音声の指示に従ってパソコンを操作したり、音声変換し伝えてくれるソフトで、ナビゲートソフトと呼ばれます。このソフトによって音声で指示できるだけでなく、インターネットによる情報やメールを音声によって伝えられ、新たな世界へとつながっています。

● 身体に障害のある人の機器

らくらくマウス・フットマウス

らくらくマウスは、手などに障害のある方向けに開発されたマウスで、力をかけないで操作できるようにトラックボールが上側についており、このボールを操作することで、文字入力ができます。また、フットマウスは、足用マウスと呼ばれ、手や腕に障害のある方のために開発された機器で、足を乗せて上下左右に動かして入力する機器です。この機器の登場により、上肢に障害のある方でも簡単にパソコンの操作ができるものです。



オペレートナビ

上肢が不自由な方のために開発されたソフトで、画面上に表示されたキーボードをわずかな体の動きで操作し、インターネットやメールを楽しむことができます。



障害の種類によってパソコン操作ができるソフト技術が発達し、誰もが同じようにパソコンを使ってインターネットやメールの交換を通して未知の世界、新たな世界が手にとるようにわかるようになってきました。

旅行に行きたいと思えば、その行き先の情報や経路を検索し、その土地の美味しい食べ物まで調べることができます。今回、講習会に参加したSさん（上肢障害）は、以前パソコンを教わったボランティアさんと再会し交流を深め、またOさん（知的障害）は、初めてパソコンに触れ、名刺を作成するなど、参加者の皆さんは普段の生活では体験できないことができました。

ボランティアの皆さんも、今まで使ったことのないソフトを目の当たりにし、最新の技術に感心する一方、参加者が楽しんでいる姿を見て、今後お手伝いしたいという声も聞かれました。

藤野町地区社会福祉協議会では、障害のある方の自立を支援する取り組みの一環として、今年度から、ITボランティアの組織化に向けた取り組みを実施していきます。

パソコンの操作に興味のある方は、是非ご協力をお願いいたします。

お問合せは、ふじのボランティアセンター 電話 042-687-3361へ

藤野介護者の会による介護相談会を実施します

寝たきりや認知症のお年寄りを介護されている方で、日々介護上の不安や悩みを相談し、ストレスを発散してみませんか。

介護に携わっている方が直接アドバイスをする何でも相談会を開催します。

開催日時	会場	内容
5月23日(土)午後1時30分	日連・杉集会所	総会、相談、助言
6月6日(土)午後1時30分	藤野地域包括支援センター	相談、助言等

お問合せは、小池会長 電話042-687-3608

あなたの力が必要です

のびのびクラブ

藤野町地区では、現在16地区で高齢者の生きがいサロン「のびのび」クラブを月1～2回開催し、手工芸品の作成、踊りなどのレクリエーションなどに取り組んでいます。クラブでは、この活動に協力をいただけるボランティアを募集しています。

ぜひ、あなたの力をお貸しください。

お問合せは：市社協藤野町地域事務所 電話042-687-3361

我が街 いいひと

頑固おやじの格言！男だって負けないぜ・・・ ～藤野町の名シェフ参上！！～

小淵にお住まいの諸角清さん(76歳)は、現役バリバリのボランティアシェフです。

諸角さんがボランティア活動をするきっかけとなったのは、旧藤野町が実施していた男性の料理教室「IADL事業(日常生活関連動作)訓練事業」に参加し、そこで仲間ができて、和気あいあい調理することに生きがいを見つけたからだといいます。



そしてこの教室から、藤野町地区の男性調理ボランティアグループ「ますらお会」が誕生し、会の代表としても活躍しています。「ますらお」の意味は、男らしく、逞しさを求めるということ。まさにこの語源にピッタリ活動を続け、今では60歳代から80歳代までの男性が活躍しています。

諸角さんも今では、材料選び、下ごしらえ、味付け、盛り付けを通し調理することに開眼。和洋中、お菓子まで作る名シェフとなり、独居高齢者の給食サービスのお弁当づくりや、今年の市民桜まつりでは、「頑固おやじのマドレーヌ」と命名したマドレーヌを2,000個も販売し、大好評のうちに完売することができました。この収益金は今年度の地区社協の活動に役立たれます。

こうした活動に生きがいを感じている諸角さん。今では、ますらお会以外にも、同じく男性ボランティアグループおたすけ会でも、高齢者宅の庭木の手入れなどの活動をしています。

ボランティア活動を通して、諸角さんは人とのつながりの大切さを感じたそうです。ぜひ、藤野町地区でも男性ボランティアの活動の場を広げていきたいと感じているそうです。ボランティア活動に興味のある方、料理に興味のある方、ぜひケーキ作りに取り組み清さんの活動にご参加してみませんか。

お問い合わせは：ふじのボランティアセンター 電話046-687-3361

初心者向け 点訳講習会参加者募集!

点字点訳のボランティアを始めたいという方を対象に、講習会を開催します。皆さんも点訳をするボランティアを目指してみませんか。

視覚障害者へのボランティア活動として、点字を覚えてみませんか。点字が施されているものとしては身近な例としては、缶ビールの飲み口に「お酒」と表記、エレベーター内の押しボタンに、行き先階の表示がされています。

日時：5月13日～7月15日 毎週水曜日 10回
午前10時～正午
場所：津久井地域福祉センター
参加費：2,000円(テキスト代等実費)
定員：20名
申込み・問合せ：4月24日までに
市社協 津久井町地域事務所 電話042-784-3393

録音版・点字版の発行

「社協さがみはら みんないいひと ふじのだより」は、録音版・点字版の発行も行っております。詳しくは、藤野町地域事務所までお問い合わせください。

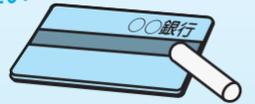
認知症高齢者、知的障害者、精神障害者などで判断能力が不十分な方のことで相談したい、

そんな場合には

ふじのあんしんセンターにご相談ください

判断能力が不十分な高齢者、障害者のために福祉サービスの利用手続きや生活費の出し入れ、公共料金の支払代行、定期預金証書、権利書など重要書類の保管などを行います。

- ◎福祉サービスの利用手続きや、日常の預貯金の出し入れをお願いしたい
福祉サービス利用援助・日常的金銭管理サービス
- ◎預金証書、権利書など大切な財産の保管をお願いしたい
書類等預かりサービス
- ◎弁護士に相談したいことがある
権利擁護相談(毎週第4木曜日)1人40分



利用料金表		料金(月額)
福祉サービス利用援助 日常的金銭管理サービス	生活保護受給者及び前年度分市県民税が非課税の人	無料
	課税標準額が2,000,000円以下の人	2,500円
	課税標準額が2,000,001円以上の人	5,000円
書類等預かりサービス(銀行の貸金庫にてお預かりします)		500円
弁護士による権利擁護相談(電話予約:042-756-5034) 相談室:あじさい会館6階		無料

問合せ・申込み 市社協藤野町地域事務所 電話042-687-3361

～藤野伝統行事『おひまち』から～ 心のこもった1品です!

藤野町地区の昔から引継がれている行事「おひまち」。畑仕事や田植え、地域の行事の終わった後に、集落の人たちが集まって会食や余興を通し親交を深め合うというもの。今号は、畑仕事にかかわるおひまち料理を紹介します。

手作り豆腐

オリジナル豆腐を楽しんでください

- 【用意するもの】
～4丁分～
大豆500g、にがり15g、水
- 【用具】
こし袋、木綿の布、形箱、ミキサー、棒温度計、木ベラ、鍋(10のもの)、おたま

【下準備】
大豆500gをきれいに洗い、3倍の水(約2.4)に浸す。(夏8～10時間、冬24時間程)

- 【作り方】
- ①ふやかした大豆を水切りし、4.5の水と一緒にミキサーにかけ2分ほどすりつぶす。
- ②つぶした大豆を鍋に入れ、かき混ぜながら強火にかけ、沸騰したら火を弱め15～16分程度煮る。
- ③煮あがった大豆を熱いうちに布の袋に入れ固く搾る。(絞汁は豆乳、のこりはおから)
- ④搾った豆乳を弱火にかけ、鍋底をかき混ぜながら70～75℃(正確に)に温め火を止める。火を止めすぐに、にがりを半分木ベラに沿って少しずつたらし、底からゆっくりムラなく十字に混ぜる。さらに、残りのにがりをまんべんなく入れる。1・2箇所澄んできたなら蓋をして15分待つ。
- ⑤型箱に木綿の布を敷き、おたまで固まった豆腐分をすくい入れる。布を折りたたみ押し蓋をして約1Kgの重しを15分位おき水を切る。
- ⑥型箱から布ごと豆腐を取り出し、30分程度水にさらす。必要に応じて冷蔵庫保存。

ボランティアに関する相談・活動等のお問合せは、
ふじのボランティアセンターまで
(相模原市藤野町小淵2000 相模原市藤野総合事務所2階)
電話 042-687-3361 FAX 042-687-4049
Eメール fujino@sagamiharashishakyo.or.jp

次号社協さがみはら「みんないいひと」ふじのだより14号は
2009年(平成21年)6月20日発行

広告

介護タクシー マクロス

- 車いすに乗ったまま乗車できます。
- お年寄りの方や、歩くのがつらい方のために車いすも準備しております。
- お買い物や通院、外出、小旅行に、また、付き添いの方も2名同乗できます。
- 年中無休・運転時間のご相談に応じます。【24時間・貸切も可能です】
- 予約制となっておりますが、空車の場合はすぐにお伺いさせていただきます。
- ご利用料金：一般小型タクシーと同様です。

相模原市福祉タクシー券ご利用できます。

一般乗用旅客自動車運送事業許可
関自旅二第1198号

マクロス(株) 藤野町名倉 1202

TEL.042-686-6300